

民主党の躍進で 政治を変える!!

ふるさと栃木の明日のために



現在、自民党会派が大多数を占める偏った議会構成のもとでは、どうしても議会の活力や監視機能の低下を招きがちです。

そのためには民主党の躍進で、議会に緊張感を取り戻し、本来の使命である政策提言と監視機能の強化を図っていくことこそ、何より重要です。

私たちは議会基本条例の制定をはじめ、政治倫理の確立・議会情報の公開・議会経費の削減など徹底した議会改革に取り組みます。

民主党は、税金の無駄遣いを厳しくチェックし、健康で健全な県政運営を目指します。

ふるさと栃木の安全安心のために 暮らしを変える!!

1. 子育て世代も高齢者も障がいのある人も、安心して生活できる街を創るために、身近な生活圏をいかした「コンパクトシティー」のまちづくりを進めます。

※コンパクトシティー:「住」も含めた様々な機能(「職」「学」「遊」そして「病院」「介護施設」等)を都市の中心部にコンパクトに集積したまち

2. 限界集落に象徴される地域間格差が拡大していくなかで、地域コミュニティーはもちろん、県民サービスの最低保障制度の充実をはかります。

※限界集落:65歳以上が50%以上を占める集落

3. 警察官の増員をさらに進めるとともに、地域警察官(外勤)の比率を高め、警察官の街

頭パトロールを強化し、さらに、ボランティア組織との連携を深め、「民」のチカラを生かした治安対策を進めます。

4. かかりつけ医療制度を充実し、中核病院との連携強化による医師の負担軽減をはかり、もって勤務医の確保を図りながら、安心の地域医療体制構築を進めます。

5. 「高齢者」や「幼児」が地域で気軽に通うことができる、住宅や空き店舗を利用した「宅老所」や「宅幼所」の整備に努めます。また、おかあさん同士が、子育てについて、気軽に話できる「つどいの広場」として、公共施設の空きスペース等の優先的開放を進めます。